別紙様式

意見交換会実施報告書

平成２８年　７月２９日

登米市議会議長　沼倉　利光　　様

第１班　　代表者　二階堂　一男

１．意見交換会の概要

<table>
<tr><td colspan="2">開催日時</td><td>平成２８年　７月１４日（木）　午後　７時００分　～　８時３０分</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催場所</td><td>南方町：南方総合支所（大会議室）</td></tr>
<tr><td colspan="2">出席議員</td><td>代表者：二階堂　一男
司会者：田口　政信
報告者：田口　久義
記録者：伊藤　吉浩、佐藤　尚哉</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加市民数</td><td>８人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>議会報告</td><td>・議会活動報告について
・財政状況について
28 年度一般会計予算及び当初予算の主なものについて
・常任委員会からの報告</td></tr>
<tr><td>意見交換</td><td>『登米市の魅力　再発見
～シティプロモーションについて考える～』</td></tr>
</table>

２．市民の質問・意見等

会場で回答したもの	質　問	（議会運営、議員） ・議会改革ランキングが上がったのはなぜか。栗原市は何位か。 ⇒早稲田大学マニフェスト研究所の評価基準で行ったもので、通年議会やタブレット端末の導入も評価されたもの。 栗原市は、県内で８位となっている。 （財政） ・公債費とは何か。公債はどこが引き受けているのか。 ⇒金額では 65 億円、全体の 13.2％である。自治体の借金の利息のことで、銀行やＪＡが引き受けている。 （国際交流） ・国際交流事業など効果があるのか。やる意義はあるのか。それを誰が評価するのか。 ⇒生徒にとっては意義のあること。すぐに効果が現れるものでもない。教育委員会でも検証しながら進めている。 （公共施設、跡地利用） ・パークゴルフ場は、市の中心の平筒沼の方が良かった。岩手に近い石越になったのはなぜか。 ⇒高森公園と選定した項目の他にも、調査項目を増やしてほしいという請願が米山から出され、民間から二人の選定委員も入り再評価した結果、整備費や用地の取得で差が出て高森公園に決まった。 （病院） ・米谷病院に療養型病床を設けることは、厚労省と方向が違う。診療報酬がなくなる可能性もあるのでは。 ⇒確かに厚労省とは違う。しかし、現実を見ると登米市は療養型病床が非常に少ない。県でも認めていることから進めたい。診療報酬がなくならないように注視していく。 （議会運営、議員） ・議会の特別委員会で地域医療について関係者からアンケートをとった。それを公表するということだったが、結果はどうなったのか。 ⇒公表して届けたのだが、手元になかったら後日届けたい。 （シティプロモーション） ・市の千本桜への交付金がなくなったのはどうしてか。 ⇒予算は各コミュニティ組織に、一括交付金で予算をつけている。
	意　見	
	要　望	
	提　言	
	（　　）	
	質　問	（病院） ・医者の確保はできるのか。 ⇒管理者も辞めて不安要素はある。

会場で回答していないもの	意　見	（国際交流） ・国際交流事業の効果はまったくないと思う。10 年後、15 年後にも効果が現れているとは思えない。行った生徒はレポートを書いて終わりとなっている。どこかでアセスメントを出してほしい。自己負担を出せない人は行けない。これを税金でやっているのは問題である。 ⇒意見として伺う部分が多いが、議会改革の中で効果と評価については今後取り組む方向である。
	要　望	（市民生活、健康推進） ・敬老会の補助金対象年齢を元通りにしてほしい。 （税、収納） ・国民健康保険税が高い。引き下げはできないか。 （その他） ・大嶽山交流広場から遊具がなくなったので、また造ってほしい。
	提　言	（シティプロモーション） ・宮城の明治村では、関係者が明治時代の服装を取り入れてはどうか。 ・災害があっても何とかなる地域は少ない。登米市は安全なこと、米があり、水があり、空き家もあり、受け入れできることをアピールし、その交流を通して農産物を販売してはどうか。 （市民生活、健康増進） ・病院がなくても健康寿命を延ばすことはできる。保健師を増やし、地域を回ることで、その代わりはできるではないか。 ・年をとっても子どもたちに頼らず、地域で暮らせる施設がほしい。都会からも来るようにして住んで良かったと思えるものを造ってほしい。 （病院） ・病院の赤字解消のためのチームを作るべきではないか。
	（　　）	
その他 特記事項		